



◀初出場のロボコン全国大会で見事準優勝を飾った甲佐中学校の生徒

甲佐中チームがロボコン全国大会で準優勝

第14回創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会

●授業で学んだ知識を生かし、全国大会で準優勝

1月25日(土)・26日(日)東京都で開催された第14回創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会で、甲佐中学校(作田潤一校長266人)が準優勝しました。

同大会は、中学校の技術・家庭科で学習した知識や技能を生かして製作したロボットの成果を発表することで、ロボットに関する工夫点や機能性、構造などを学び合い、創造性、知識、技能を高めることが目的。全日本中学校技術・家庭科研究会が主催し、全国から82チームが参加しました。

12月7日(土)・8日(日)に大分県で開催された九州地区大会で優勝した同中チームは、授業で学んだことを応用したロボットのアイデアや製作・操作技術などを競い合う1対1の対戦形式で行われる応用部門(参加32チーム)に出場。予選リーグを勝ち上

がって決勝トーナメントに進出し、西口大嗣くん(3年・津志田区)、農上翔輝くん(3年・下横田区)、松野豊くん(3年・糸田区)、和田寛也くん(3年・下横田区)のチーム「一方通行」が、決勝戦で栃木県の中学校に惜しくも敗れました。

●奥名町長、赤星町教育長に大会結果を報告

1月30日(木)生徒たちは町役場町長室を訪れ、奥名町長と赤星眞照町教育長に大会の結果を報告。西口くんは、「甲佐中ではロボコンは初めての取り組みでしたが、準優勝できたのは指導していただいた先生方、保護者や町民の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。ありがとうございました」と謝辞。奥名町長は「皆さんのチームワークと、大会に向けて重ねた練習が実ったの結果だと思います。これを糧として、今後もがんばってください」と生徒たちに声を掛けました。